

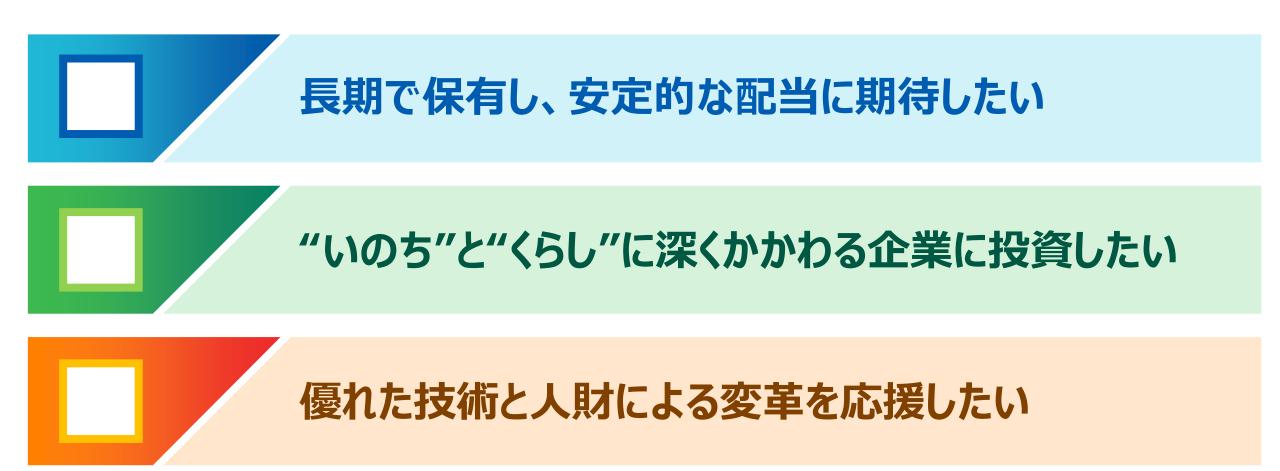


2024年3月19日 旭化成株式会社

証券コード (3407)



旭化成は、このような方の期待にお応えします



旭化成といえば…?

サランラップ・ジップロック







伝統





強豪

実業団駅伝

ヘーベルハウス



頑丈



身近

昔のCM



ところで何の会社?



みなさまの身の回りで、多くの当社製品が使われています





会社概要

社名

旭化成株式会社

本社

東京都千代田区

創業

1922年

2022年度(連結)

売上高 27,265億円 営業利益 1,277億円

代表取締役社長

工藤 幸四郎

資本金*

1,034億円

従業員数(連結)*

48,897人

*2023年3月末時点



東京本社(日比谷)



目次

- ①1 旭化成の強み
- ①2 旭化成の成長戦略
- 03 株価推移と株主還元
- 04 サステナビリティ



目次

- ①1 旭化成の強み
- 02 旭化成の成長戦略
- 03 株価推移と株主還元
- 04 サステナビリティ

旭化成の3つの強み

安定成長を実現する「3領域経営」

2 競争力の高い製品群

3 技術・人財などの豊富な「無形資産」

旭化成の3つの強み

安定成長を実現する「3領域経営」

2 競争力の高い製品群

3 技術・人財などの豊富な「無形資産」

事業ポートフォリオ変遷

社会のニーズに合わせて事業を大胆に転換

4040年出

1940年代~

合成樹脂、 繊維へ展開 1960年代~

石油化学、住宅、 ヘルスケア、 エレクトロニクス 分野へ展開 1980年代~

海外事業進展と 事業再構築への注力 M&Aによる グローバル化の加速、 ヘルスケア事業の拡大

合成アンモニア製造

1922年~

アンモニア

日本初の

- 化学繊維
- 化学肥料
- 食品



- 樹脂
- 合成繊維



- 消費財
- 石化事業
- 合成ゴム
- 建材
- 戸建住宅
- 人工腎臓
- 医療機器



- 電子部品
- ▶ LIB用セパレータ
- 集合住宅
- 東洋醸造合併
- ウイルス除去 フィルター



食品



2000年代~

- 電子コンパス
- ▶ 水素製造システム
- 救命救急医療機器 (クリティカルケア)



- レーヨン、アクリル繊維、 ポリエステル
- 石化事業再編
- **酒類**





Asahi **KASEI**

3領域経営

ヘルスケア





中空糸型人工腎臓

骨粗しょう症治療剤

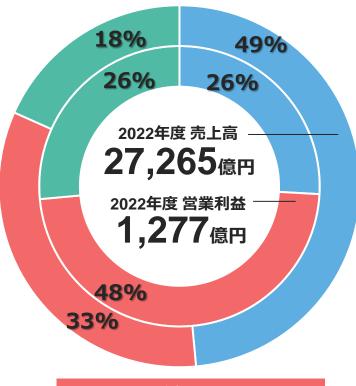




自動体外式除細動器 (AED)

ウイルス除去フィルター

旭化成グループの事業と主な製品



住宅





マテリアル



アクリロニトリル

リチウムイオン電池用セパレータ



食塩電解システム



自動車内装材



サランラップ



オーディオ向けLSI

3領域の役割

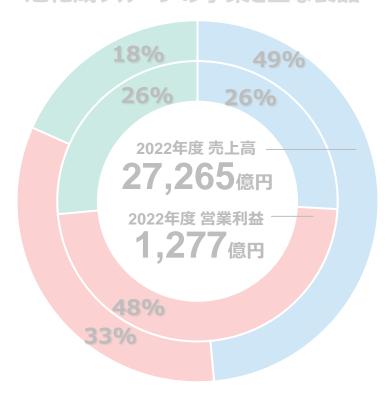
ヘルスケア



自動体外式除細動器 (AED)

ウイルス除去フィルター

旭化成グループの事業と主な製品



住宅

マテリアル





サランラップ



オーディオ向けLSI

安定的にキャッシュを創出

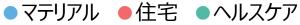
ヘーベルハウス

断熱材

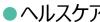
グローバルな事業展開

海外売上高は約50%

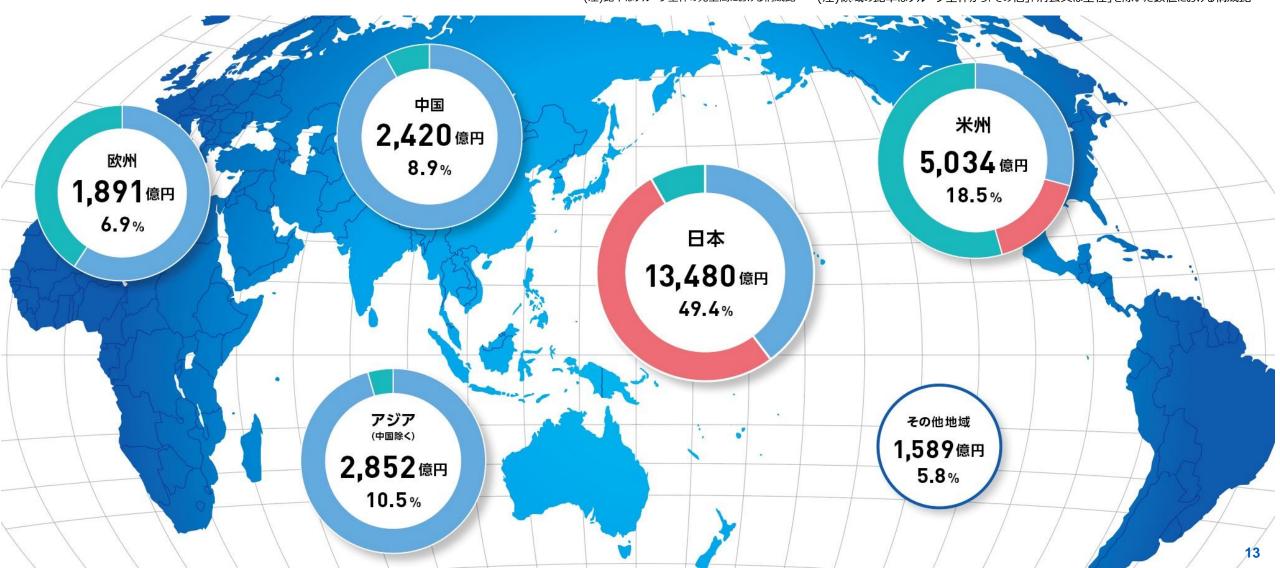
地域ごとの売上高(比率)



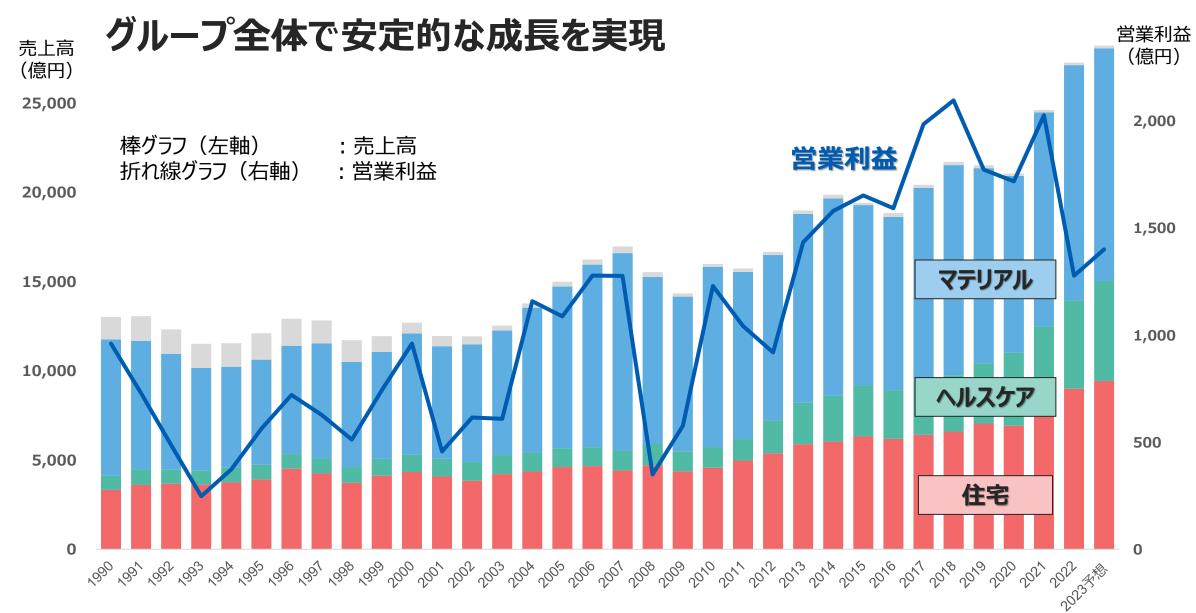




(注)領域の比率はグループ全体から「その他」「消去又は全社」を除いた数値における構成比



売上高と営業利益の推移



旭化成の3つの強み

安定成長を実現する「3領域経営」

2 競争力の高い製品群

3 技術・人財などの豊富な「無形資産」









技術に裏付けされた製品により ニッチ分野で高い市場シェア



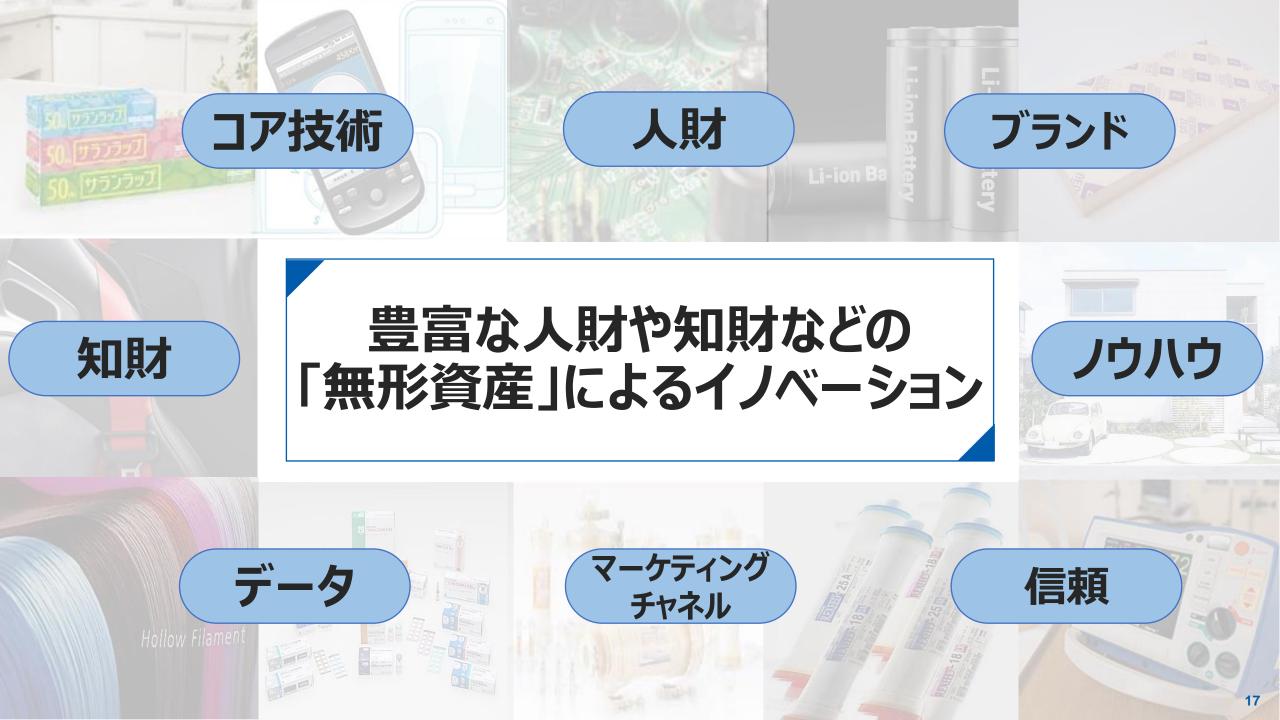












旭化成の3つの強み

安定成長を実現する「3領域経営」

2 競争力の高い製品群

3 技術・人財などの豊富な「無形資産」

旭化成の「技術」

研究·開発 数々の社外表彰



ノーベル化学賞 (2019) スウェーデン王立科学アカデミー 文化勲章 (2019) リチウムイオン二次電池

日本国

GSC賞 環境大臣賞(2019)

(公社) 新化学技術推進協会

断熱材(ネオマフォーム)

電子コンパス

文部科学大臣表彰 科学技術賞 (2019)

文部科学省

コアシェル型金一酸化ニッケルナノ 粒子触媒(MMA製造用触媒)

紫綬褒章(2020)

日本国

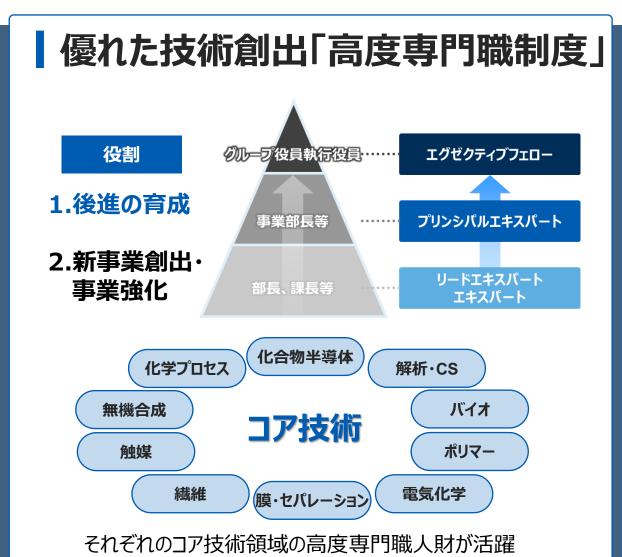
シクロヘキセン法シクロヘキサノール

文部科学大臣表彰 科学技術賞(2014)

文部科学省

紫綬褒章 (2015)

日本国



旭化成の「人財」

働きやすく、風通しのよい社風 社員クチコミサイト「OpenWork」

2022年 総合評価ランキング (化学、石油、ガラス、セラミック業界内) - 1位

2021年 働きがいのある企業ランキング - 8位



DX推進のためのデジタル人財育成 HRX of The year 2022 優秀賞受賞 HRエグゼクティブコンソーシアム主催 <取り組み名> ~人は財産、すべては「人」から~ 多様な"個"の終身成長+共創力で未来を切り拓く 「デジタル人財育成制度」 2.500名 DX銘柄2023 **Digital Transformation** 1,206名 250名

2022年度

2023年度

2024年度

(目標)

2021年度

旭化成の「ブランド」

ヘーベルハウス



3階建てや二世帯住宅など、都市型住宅のパイオニア





ベンベルグ



90年以上続く事業 スーツの裏地から 民族衣装まで、 世界中で愛される素材

サランラップ゜



60年以上のロングセラー 生活の必需品として、 愛され続ける消費財 食品用ラップ売上No.1

※(株)インテージSRI+ラッピングフィルム市場 2022年1月~2022年12月 累計販売金額



目次

- ①1 旭化成の強み
- ①2 旭化成の成長戦略
- 03 株価推移と株主還元
- 04 サステナビリティ

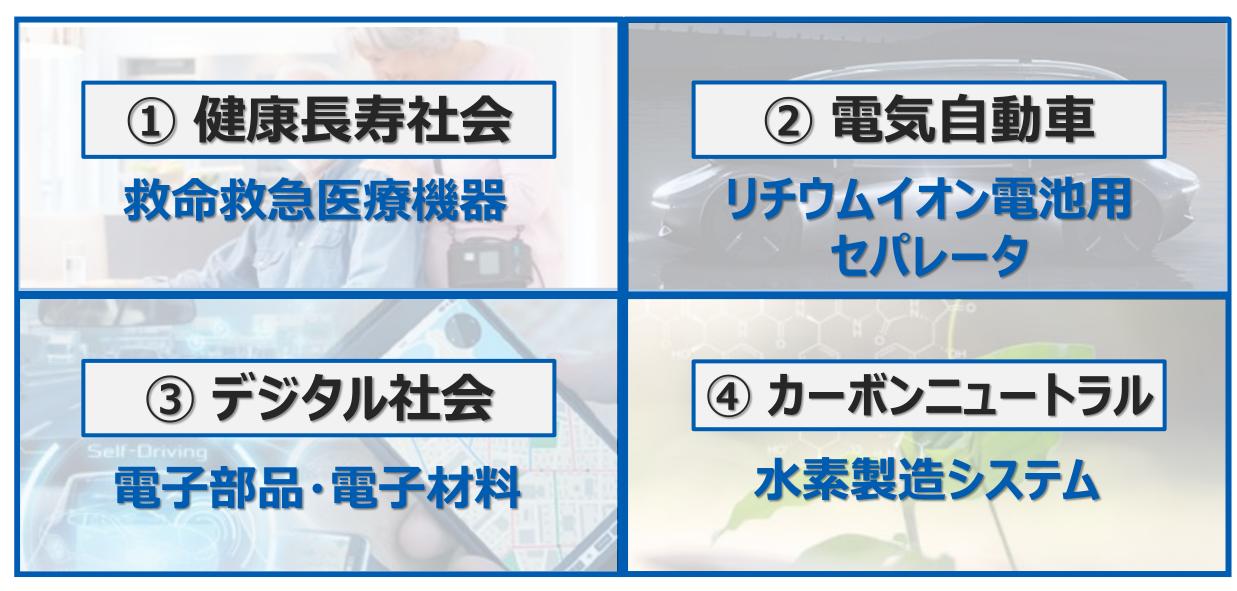
旭化成のグループミッション

「世界の人びとの"いのち"と"くらし"に貢献します」

これからの社会課題・ニーズ



これからの社会に貢献する主な成長事業







健康長寿社会

救命救急医療機器を中心とした製品群で、一人でも多くのいのちを救います

旭化成の事業:救命救急医療機器 (クリティカルケア事業)

- 救命救急医療に貢献する多様な医療機器において、グローバル で市場をリード
- 主な製品は、心停止を起こした心臓に電気ショックを与えて蘇生する AED等の除細動器

当社製品例



人工呼吸器



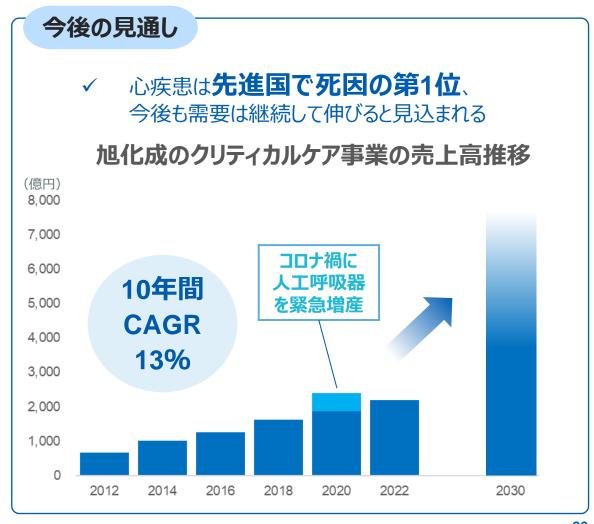




AED



医療従事者向け除細動器





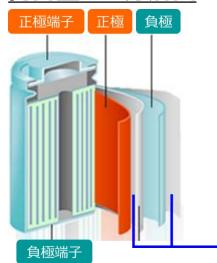
② 電気自動車 (EV)

グローバルでのEV需要の拡大を世界トップクラスのセパレータ技術で支えます

旭化成の事業:リチウムイオン電池用セパレータ

- 電気自動車に搭載するリチウムイオン電池の 主要部材の1つで、安全性を保つための絶縁体
- 旭化成は、高品質のセパレータを40年以上供給する**パイオニア**

円筒型LIB分解図



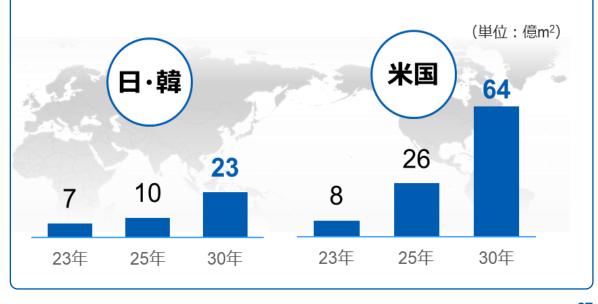
当社製品例



今後の見通し

- / 世界のEVの生産台数は今後さらに拡大する見込み
- ✓ 拡大が見込まれる米国市場向けに投資を検討

LIB用セパレータ市場の見通し(当社推計)





③ デジタル社会

特徴ある電子部品・電子材料で社会の最先端ニーズに応えます

旭化成の事業:電子部品・電子材料

EVやスマホ、生成AI関連に使われる、ニッチで特徴ある 最先端の電子材料・電子部品が多数

<用途例>







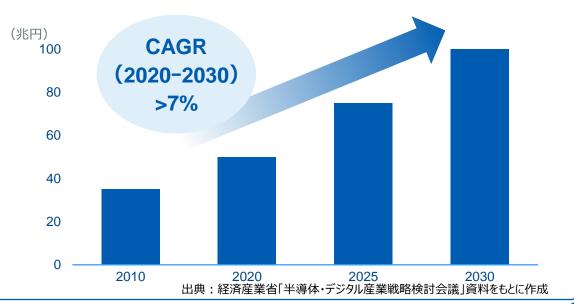
当社製品例

- ロ配線形成用感光性 ドライフィルム「サンフォート」
- ロ半導体保護膜/ 層間絶縁膜「パイメル」
- ロプリント配線基板/ パッケージ基板用ガラスクロス
- 口高性能コアレス電流センサー
- ロスマートフォン向けカメラ用 手振れ補正ドライバIC

今後の見通し

- ✓ 世界のデジタル化に伴い、半導体市場規模は拡大
- ✓ 高品質・高機能な電子部品や半導体材料のニーズ増加

世界の半導体市場規模





4 カーボンニュートラル

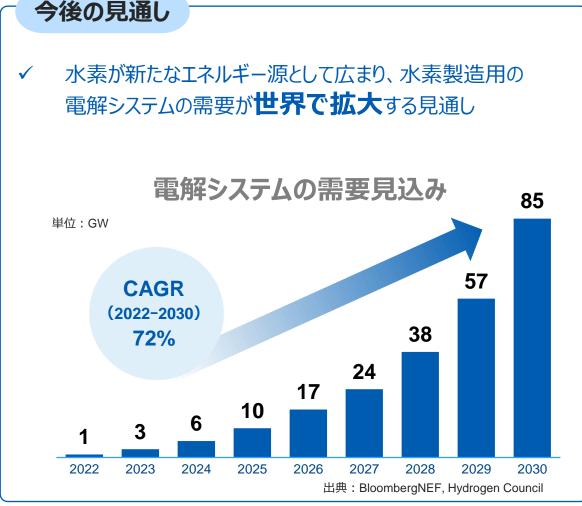
水素製造システムのリーディングカンパニーを目指します

旭化成の事業:再生可能エネルギーを使った、 グリーン水素製造システム

- 大型アルカリ水電解システムの実稼働が3年を経過、 世界トップクラスの実績
- クリーンなエネルギーの普及により、世界のGHG排出削減への貢献をめざす



福島水素エネルギー研究フィールド(FH2R)にある 当社の大型アルカリ水電解システム



成長事業によるグループの業績牽引

救命救急医療機器

リチウムイオン電池用セパレータ

電子部品·電子材料

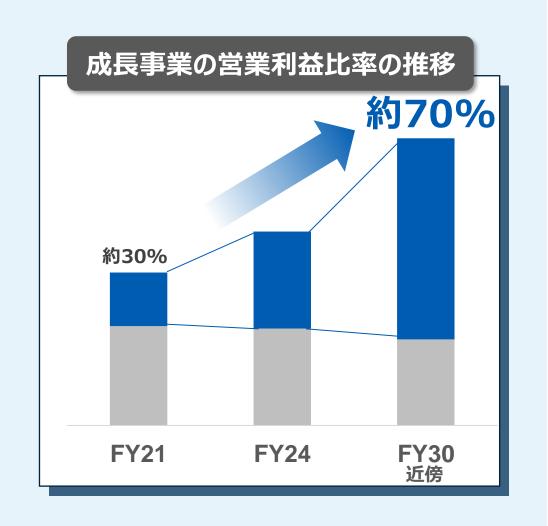


水素製造システム

これらを含む10の成長事業

2022~2024年度の成長事業への累計投資額:

約6,000億円 (意思決定ベース)



業績目標

	(億円)	2022年度 実績	2024年度 計画	長期展望 (2030年近傍)
	売上高	27,265	30,000	_
収益性	営業利益	1,277	2,000~	4,000
	売上高営業利益率	4.7%	6.7%~	_
資本効率	投下資本利益率 (ROIC)	4.0	6%~	10%~
	自己資本利益率 (ROE)	-5.5	9%~	15%~
財務 健全性	D/Eレシオ	0.57	_	_
	自己資本比率	49.0%	-	_



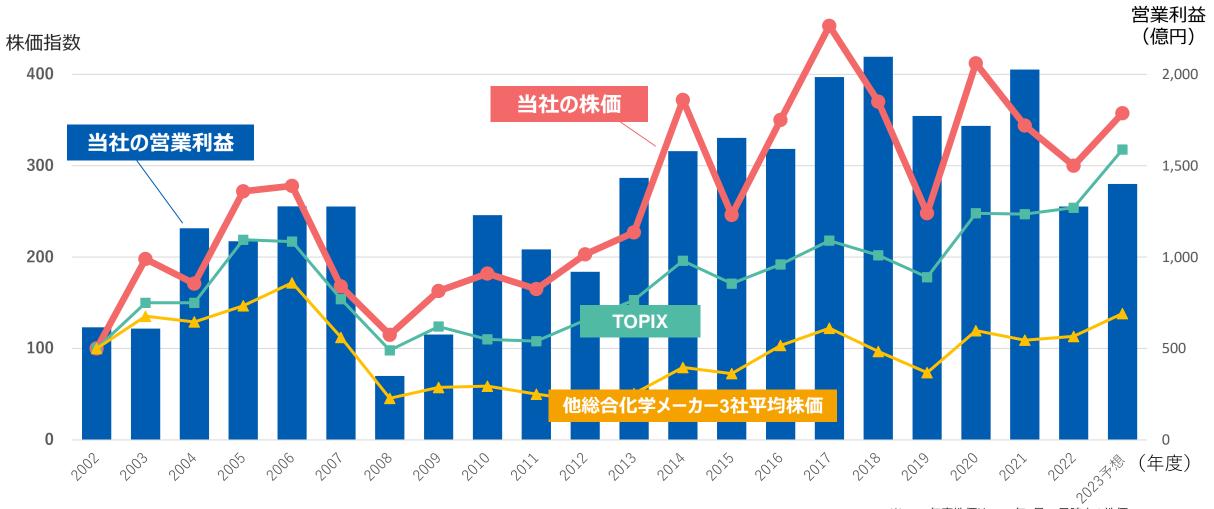
目次

- ①1 旭化成の強み
- 02 旭化成の成長戦略
- 03 株価推移と株主還元
- 04 サステナビリティ

営業利益と株価推移

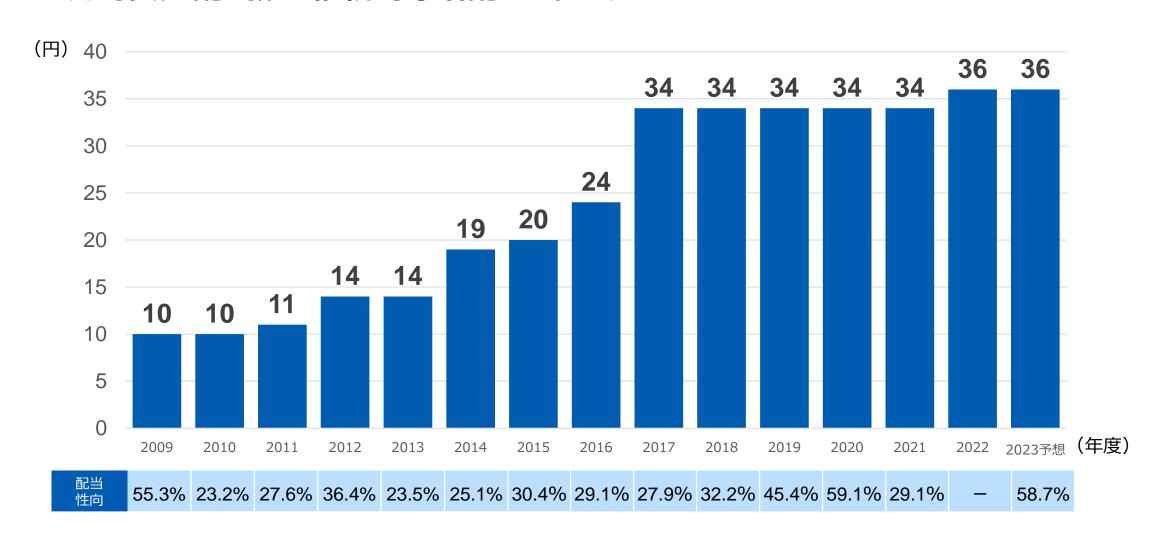
利益成長に併せて株価も上昇、TOPIXをアウトパフォーム

(2002年度を100とした株価推移)



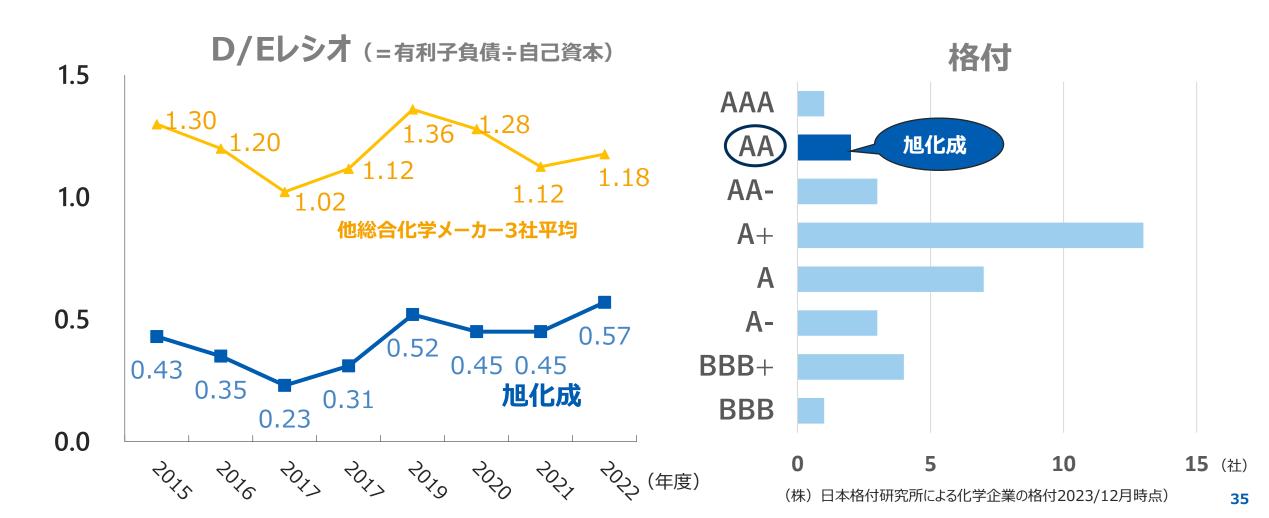
1株あたり配当金の推移

- 過去10年以上、減配なし
- 今後も安定配当かつ継続的な増配が基本方針



財務体質と格付

- 積極的なM&Aや投資を行いながらも、D/EレシオはO.5倍程度を維持
- 強い財務体質を堅持し、高い格付を取得





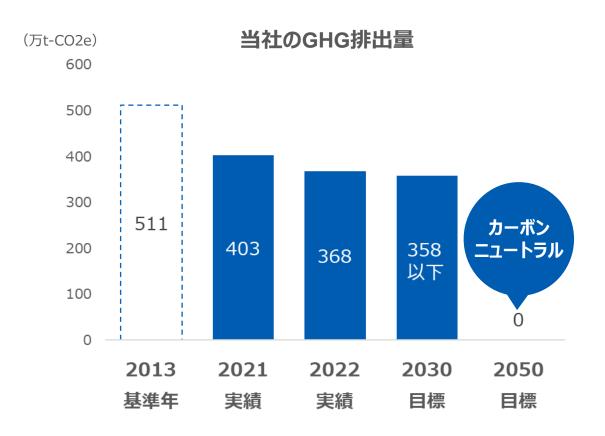
目次

- ①1 旭化成の強み
- 02 旭化成の成長戦略
- 03 株価推移と株主還元
- 04 サステナビリティ

サステナビリティ

事業活動における当社のGHG排出量削減

- 2030年に2013年度比で30%以上削減
- 2050年カーボンニュートラル実現

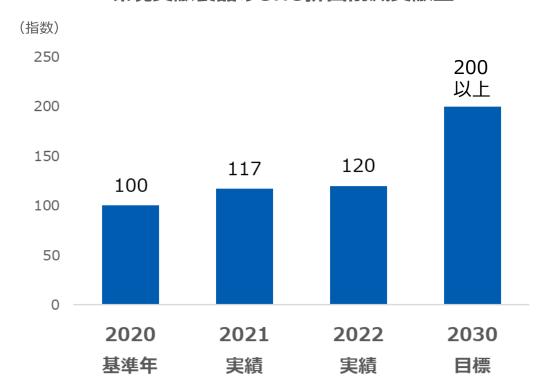


社会のGHG排出量削減への貢献

「環境貢献製品」※によるGHG排出削減量を、2030年までに2倍以上に引き上げ(2020年度比)

※「環境貢献製品」: 生産から消費までの全体でGHG削減に寄与する 当社製品群の呼称

環境貢献製品のGHG排出削減貢献量



社会·地域貢献

発祥の地である宮崎県延岡市をはじめ、地域社会の皆様と共に発展を目指しています



雇用の創出



当社OBによる学業支援ボランティア



出前授業·職場訪問学習



植林活動「あさひの森」



柔道教室

社外の評価

世界的なESG投資へ組み入れ

- FTSE4Good Index Series
- FTSE Blossom Japan Index
- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
- S&P/JPX カーボン・エフィシェント指数

- MSCI ESG Leaders Indexes
- MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数
- MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)
- Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index



FTSE Blossom Japan



FTSE4Good



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index



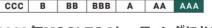




2023 CONSTITUENT MSCIジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数

2023 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)





2023年MSCI ESGレーティングにおいて、 最高評価となる「AAA Iを獲得

国内でも高い評価

- ・(株)日本政策投資銀行の「DBJ環境格付」融資で最高ランクの格付を取得
- ・「DX銘柄2023 に選定
- ・「健康経営優良法人2023 (大規模法人部門) ホワイト500」に認定







社長の想い



代表取締役社長 兼 社長執行役員 工藤 幸四郎

困難な状況を打破すべく、 既存の枠組みにとらわれず挑戦する



A nimal - Spirit

健全な危機感

迅速果断

野心的な意欲

進取の気風

旭化成に、ぜひご注目ください!



長期で保有し、安定的な配当に期待したい



"いのち"と"くらし"に深くかかわる企業に投資したい



優れた技術と人財による変革を応援したい

(参考) 旭化成の統合報告書

第3回日経統合報告書アワード 優秀賞 受賞



旭化成レポート



検索

AsahiKASEI

Creating for Tomorrow

私たち旭化成グループの使命。

それは、いつの時代でも世界の人びとが"いのち"を育み、

より豊かな"くらし"を実現できるよう、最善を尽くすこと。

創業以来変わらぬ人類貢献への想いを胸に、

次の時代へ大胆に応えていくために一。

私たちは、昨日まで世界になかったものを創造し続けます。





業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在 入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。